

質問 30	市立幼稚園は、少子化で減っている訳ではなく、預かる時間が短いから減っているものと捉えている。認定こども園化により園児数減少を食い止め、統廃合をしなくても良い方向にもっていくことか。
------------------	--

【市の考え方】その他

少子化が進む中、園児数や地域の状況などを踏まえ、統廃合は進めていく必要があると考えます。その一方で、社会環境の変化や保護者ニーズへの対応の一環として、認定こども園化や市立幼稚園における預かり保育の充実も同時に検討する必要があると考えます。

(2) 運営の充実 (60件)

- ① 市立幼稚園・保育園に期待される役割を意識した運営に取り組みます。
(21件)

質問 31	浜松市教育総合計画とは、どの様なものか。
------------------	----------------------

【市の考え方】その他

浜松市の教育理念や教育に関する具体的な施策などを示す計画であり、市立幼稚園・保育園は、この計画に位置付けられた幼児期の教育内容（浜松市幼児教育の指針「幼児期に育てたい力」）に基づき、教育・保育を行います。

要望 76	市立園は、利益ではなく子供を育てるという役割を担っており、幼児期に一番大切な「心を育てる」ことができる。地域に根付いた幼児教育を行える場を作る必要がある。サービスだけでなく、心を育てる教育に投資すべきである。
要望 77	集団登園や行事などへの参加を通じて、子供の成長する姿を見ながら親も一緒に成長していけるなど、地域の幼稚園としての市立幼稚園の良さを維持していけないか。また、これらのことを今まで広くアピールしてきたか。

【市の考え方】盛り込み済

市立幼稚園においては、地域住民とふれあい、地域のことを知ることで地域への愛着を育む教育を実践してきており、これらの活動は、各園ホームページのブログにて紹介しています。

今後も、各地域・園の特色を生かしながら、地域への愛着を育む教育・保育の充実に努めます。

質問 32	指導訪問とは何か。
------------------	-----------

【市の考え方】その他

市立幼稚園・保育園の教育・保育の質の向上を図るため、幼児教育の専門職員が、各園の要望に応じて園を訪問し、保育参観や園内研修を通じて、保育改善に向けたアドバイスを行うものです。

要望 78	現在の市立幼稚園は、幼稚園教諭が代わっても、同じ様に園児と向き合ってくれている。研修を通じて、持続可能で質の高い幼児教育を徹底してほしい。
要望 79	1・2年目の保育士の質を上げる指導や実践的な研修が必要である。
要望 80	社会で不適切保育が問題になっている。行政には指導等で教育の質を管理し、より良い教育を行ってほしい。
要望 81	平等に研修を受けられる環境づくりが重要である。また、専門家等が各園に出向き、実態に合わせたサポートを施し、必要な研修を行い、各園での主体的な学びや成長が育まれるシステムづくりが重要である。不適切保育と言われることがないように、各園が「それぞれに違って、それぞれにいい」という保育現場を目指してほしい。
要望 82	これからの時代の幼稚園教諭・保育士は、様々な業務を持つのではなく、担任は、その年年に出逢う子供のスペシャリストであってほしいと思う。様々な業務を行っていても、本当の意味での質の高い教育・保育はできない。

【市の考え方】盛り込み済

いただいたご意見も参考に、研修や指導訪問の充実などに努めます。

要望 83	療育が必要な子供の受入れ施設が不足していると感じている。市立・私立が連携して、地域の全ての子供の育ちを支えていけると良い。
要望 84	市立幼稚園では、発達障がい児や外国人の子どもが増えているように感じるが、先生はとても丁寧に対応してくれていると思うため、質の維持を望む。
要望 85	病児・病後保育施設が少ないため、増やしてほしい。
要望 86	ケア児、支援を必要とする子供の受入れのため、臨床心理士のような専門職を配置してほしい。
要望 87	市立幼稚園には、支援を要する子供や外国にルーツを持つ子供が多く、教育の目的が果たせないという声がある。この様な問題も把握して施策を進めてもらいたい。
質問 33	1学年15人以上の園児と支援を必要とする子が共に学び、成長できる保育の具体的な対策を知りたい。

【市の考え方】盛り込み済

支援を必要とする子供や外国にルーツを持つ子供の受入について、市立園が果たす役割は大きいと捉えており、今後も、私立園と連携・協力をしながら進めていく必要があると考えています。

共に学び成長できる幼児教育・保育を推進するため、いただいたご意見も参考に環境整備や研修などの具体的な対応について検討します。

要望 88	保育については、子供たちの安全や成長などをしっかり保障できるようにお願いします。
要望 89 90	市立園の役割をしっかりと果たしていけるように、保護者や地域の要望をしっかりと受け止め、自治体が責任をもって運営してほしい。
要望 91	市の保育のスタンダードな基準（保育内容、配置基準、職員の処遇など）は、市立園によるところが大きい。市立園は、調整弁的な役割ではなく、市が直営できる強みを持って運営してほしい。
要望 92	市立園は、他施設のモデルとして、園児数の減少をマイナスと捉えるのではなく、保育の質の向上のチャンスと捉え、全国に向けてアピールしてほしい。「子育てしやすいまち・浜松」を目指し、市民、子育て中の保護者が「浜松にいて良かった」と思える施策の実施を願う。
要望 93	市立幼稚園・保育園などの公立施設は、その地域に必要であると市が判断して設置されているものと考えており、昨今の通園バスの置き去りや不適切保育などの社会動態の中で、重要な役割を果たしていかなければならない。

【市の考え方】その他

市立幼稚園・保育園の役割に関するご意見として承ります。

② 社会環境の変化に対応した運営を推進します。（3 2 件）

提案 9	「一時保育の子供は現在入所できている」と聞いているため、預かり保育や一時預かり事業の充実については記載する必要はない。
要望 94	預かり保育、一時預かり事業が、以前より充実してきている実感があり、公立幼稚園を選んだ保護者にとってはありがたく感じている。
要望 95	保護者のニーズが高い預かり保育や一時保育の実施は、拠点園に限定せず、可能な園から直ぐに取り組む必要がある。
要望 96	市立幼稚園の少人数化を止めるため、市立幼稚園で預かり保育をやるべきであり、少なくとも要望がある園は開始してほしい。
要望 97	預かり保育が需要に対して不足しているという話をよく聞くため、施設整備や人員確保が可能になれば、さらに環境整備が整うのではないか。
要望 98	私立園はバス送迎や預かり保育、給食の有無を選べるなど、融通が利くことが選ばれる理由である。市立園でも預かり保育などを行っているが、長期間の休みの時にはないなど十分ではない。市立で取り入れられる範囲で保護者のニーズに合わせていくことが大切である。市立園にも

	良さはあるので、良さを活かしつつニーズに合わせていってほしい。
要望 99	幼稚園や保育園、小学校に子どもを通わせる親のほとんどは共働きであるが、そうした共働き世帯にとっては預かり保育や、一時預かり事業などが大切と思うため充実してほしい。
要望 100	市立幼稚園の預かり保育については、保育時間を15時まで延長する、長期休暇中の保育日数を増やすことなどの対応を検討してはどうか。
要望 101	市立園は、保育時間が短かったり、保護者が参加することが多かったですりするため、園児数が減っているのではないかと。園運営を見直す必要がある。
要望 102	市立から私立へ流れる要因として、延長保育に対応している市立幼稚園が少ないことと、通園方法が限られていることがあると思う。統廃合をするのであれば、そのあたりについても考慮してほしい。
要望 103	私立園は送迎があり、預かる時間も長いため、私立園を選ぶ保護者が多いのではないかと。施設を新しくすることも大事だとは思いますが、保護者が預けやすい園かどうかの方が大事である。
要望 104	市立幼稚園は午後2時頃までしか預かってもらえないことが園児数減少の原因である。もう少し長く預かってもらえれば園児数が増えるのではないかと。預かり時間の拡大を要望する。
要望 105	市立幼稚園は、保育時間が短いことが問題である。私立を見習い、保育時間を延ばしてはどうか。
要望 106	市立幼稚園の預かり保育を実施している園は、園児数が増えているのかがわかる表現を加えてほしい。

【市の考え方】盛り込み済

預かり保育や一時預かり事業については、園児数の増加が目的ではなく、社会環境の変化や保護者ニーズに対応するための施策と考えています。新規実施、時間延長など、事業の充実にあたっては、職員の配置や増員が必要となるため、原則、統廃合に合わせて実施することを想定しています。

また、バス送迎についても、同様に職員の配置や増員が必要となるため、著しく通園が不便になる地域において、統廃合に合わせて実施することを想定しています。

要望 107	市立幼稚園については、満3歳児から入園できる仕組みについても、柔軟に対応してほしい。その際には、地域・保護者とともに意見交換しながら新しい体制づくりができるとうい。
質問 34	市立幼稚園のみの地域については、人材確保や施設整備が必要なため認定こども園化は難しいと聞いたが、満3歳児クラスの設置は検討してもらえるのか。

【市の考え方】今後の参考

満3歳児クラスの設置については人材確保や施設整備などの課題があります。方針に基づき施策を進めていく中で、保護者などのご意見も踏まえ、代替手段を含め、実現の可能性について検討します。

質問 35	少数保育の方が良い子供のために、小規模園の検討はあるのか。
------------------	-------------------------------

【市の考え方】その他

地域の実情に応じて小規模園でも運営を継続することはありますが、少人数保育は、園児の成長に応じて、同一施設において集団生活に移行できるなどのメリットがあり、各園における少人数保育での対応が基本になると考えます。

要望 108	園には、アトリエリスタやペタゴジスタ、キンダーカウンセラー、支援が必要な子のスペシャリスト、多言語スタッフ、写真家、園庭や保育室環境づくりの専門家、保育アシスタントなど、多様な専門家を配置することで、質を保障し、子供たちの育ちを豊かにすると考える。
-------------------	--

【市の考え方】その他

社会環境の変化に対応した運営に関するご意見として承ります。

提案 10	保育園などでは職員が足りていないのではないか。この方針において、保育士の人数について言及がない。
要望 109	園児数に応じて職員数は決まっていると思うが、質の高い保育のために職員数を増やすことはできないか。
要望 110	配置基準に、もっと目を向けてほしい。
要望 111	早急な配置基準の改善を求める。
要望 112	基準いっぱいまで定員を増やし、ぎゅうぎゅう詰めの保育を保育士の献身的な労働で支えてきたが、最近では、「不適切な保育」として非難の対象となっている。配置基準こそが不適切である。配置基準の反省なしに「質の高い保育」「望ましい保育」は語れない。狭い部屋に大勢の子供を入所させることが「虐待」と言われる時代も近いと思う。
要望 113	ヨーロッパでは、日本の保育士配置基準が虐待にあたるのではないかと言われている。不適切保育というなら配置基準が不適切保育である。不適切を改めるべきである。
要望 114	園児数の減少をマイナスに捉えるのではなく、配置基準の改善を含めた質の向上へのチャンスとするべきである。
要望 115	方針において、市立幼稚園・保育園で働く職員配置の適正化について触れられていない。小学校でも1クラス30人学級になっている時代に、保育園では、4・5歳児は30人に1人しか職員がつかない。職員の配置基準を今の時代にあったものにしてほしい。

要望 116	質の高い幼児教育・保育を市立でこそ実現すべきである。園児数の減少をマイナスと捉えず、職員の配置基準の改善を含めた質の向上につながれば良いのではないか。
要望 117	質の高い幼児教育・保育を実現させるためには、保育士一人当たりがみる子供の人数を減らすべきである。
要望 118	支援が必要な子供が増えており、職員配置基準の見直しを求める。
要望 119	度重なる保育の事件で、配置基準の見直しが問われている。少人数で一人ひとりに関わる時間を増やせるよう望む。
要望 120	市立保育園では、3歳児15人に対して職員1人、4・5歳児は20人に対して職員1人の職員配置で考えてほしい。
質問 36	質の高い幼児教育・保育を図るための園児数と幼稚園教諭・保育士の適正な配置バランスについて市の考えを伺う。

【市の考え方】その他

市立保育園については「児童福祉施設の設備及び運営に関する基準」、市立幼稚園については「幼稚園設置基準」に基づき職員を配置しています。保育所の配置基準については、近年、不適切保育などの問題を契機に見直しに向けた議論が国で進んでおり、この動向に注視しながら、市の考え方を整理します。

③ 拠点園の中から、地域全体の幼児教育・保育の質の向上を図る役割を担う園を設定します。(7件)

提案 11	市民から選ばれていない園が拠点園として「地域全体の幼児教育・保育の質の向上を図る役割を担う」ことは不適格である。
要望 121	地域の幼児教育推進拠点の設置には賛成である。市立・私立の垣根を超えて、情報交換や幼小連携などが進むことを期待している。
要望 122	私立園の置かれている環境も厳しいものがあると思うため、私立園と市立園の連携促進に大きく期待している。
質問 37	地域全体の幼児教育・保育の質の向上を図る園とは、具体的に何をする園なのか。

【市の考え方】その他

地域全体の幼児教育・保育の質の向上を図る役割を担う園については、私立園を含む就学前施設との連携を推進するとともに、情報発信などを行います。具体的な活動内容については、モデル園の選定と合わせて、方針施行後に検討します。

本格実施に移行する際には、モデル園での検証結果を踏まえ、活動内容や園数な

どを検討したうえで、役割を全うできる園を選定します。

要望 123	地域の子育てセンターの様な施設が必要である。私立・市立関係なく、幼保小連携の橋渡しをし、公的な機関として真に必要な子育て機関としての機能を求める。
要望 124	市立幼稚園・保育園では、現在も「子育て支援」を実施しているが、これでは不十分ということか。これからの施策について予定を示してほしい。
質問 38	地域の子育て支援機能の具体的な支援内容について示してほしい。

【市の考え方】その他

子育て支援機能として、現在、市立幼稚園・保育園で実施している「未就園児サークル」や「親子ひろば」で行う「子育てに関する相談機能」の充実などを想定しています。具体的な活動内容については、モデル園の選定と合わせて、方針施行後に検討します。

また、私立園を含め、小学校との連携・接続については、地域全体の幼児教育・保育の質の向上を図る役割を担う園を中心に推進します。

(3) 施設の整備（17件）

① 計画的な施設修繕に取り組みます。（10件）

要望 125	少子化による園児数の減少は、行政の力ではどうしようもないが、施設の老朽化は行政や議会の責任である。数年前から、園庭整備やLED化、エアコンの設置など、幼稚園の施設整備に力を入れているとは感じているが、長期計画を立てて建替えていくべきであった。
要望 126	拠点園に設定された場合は、園舎の建て替えをしっかりとやってもらいたい。現在、雨漏りの修理ですら時間が掛かっており、幼稚園に適切な予算が充てられていない。園舎が新しくなれば、子供が少ない地域でも園児数を確保できるはずであるため、しっかり予算を掛けて対策してもらいたい。
要望 127	老朽化は進んでいくため、数園は建て替えをしてほしい。老朽化で働きたいと思う人が来ない。
要望 128	市立幼稚園・保育園の老朽化に早急に対応してほしい。私立園は、近代的な設備やトイレがある園が多く、あまりに公私の差が大きいと感じる。
要望 129	施設の老朽化対策が必要な園は、早急を実施してほしい。
要望 130	建物の老朽化は、子供たちの安全・安心と快適な環境を考慮し、建て替えが難しければ、早急に大規模改修を進めてほしい。

要望 131	施設の改修は、どんどん進めてほしい。
要望 132	安全のため、老朽化している施設の早期改修を望む。
要望 133	施設整備については、その場その場ではなく、長期の計画を立てて進めることを望む。

【市の考え方】その他

市立幼稚園・保育園の施設については、安全・安心な教育・保育が提供できるよう維持保全を図っています。施設整備は、長期的な財政負担の軽減・平準化と市民への安全で快適な建築物の提供を目的とした浜松市公共建築物長寿命化計画などにに基づき、長寿命化のための改修工事を順次、進めます。大規模改修等による長寿命化を原則としますが、統廃合や認定こども園化などに伴い必要性が生じた場合には、移転や新設を検討します。

質問 39	大規模改修でどのくらい長寿命化するのか知りたい。
----------	--------------------------

【市の考え方】その他

浜松市公共建築物長寿命化指針において、公共建築物は、建築後おおむね20年、60年を目途に実施する小規模改修と、おおむね40年を目途に実施する大規模改修を計画的に実施することで長寿命化を図り、目標使用年数を原則80年と設定しています。大規模改修工事では、劣化した機能や性能を新築時レベルまで回復させることを目的とし、屋根、外壁、内装、電気・空調設備、水回りの衛生機器や配管などを改修します。

② 統廃合などに合わせ、効率的・効果的な整備方法を検討します。(5件)

要望 134	今後少子化が加速し、施設が余っていく中で新たに施設を作り、税金を投入することは無駄である。
要望 135	統廃合を行い、拠点園を設けるにしても、基本的には今ある施設を利用するなど、新たな設備投資は抑えてほしい。
要望 136	市立保育園は園舎が狭く、駐車場も狭いため、認定こども園化にあたっては、公設公営での移転・新設を望みます。

【市の考え方】盛り込み済

既存施設の活用を優先しますが、必要性が生じた場合には、移転や新設を検討します。

質問 40	統合された場合は駐車場が完備されるのか。
-----------------	----------------------

【市の考え方】盛り込み済

統合先の園の状況にもよりますが、必要と判断した場合には整備について検討します。

要望 137	市立幼稚園・保育園の既存施設が改修不能となった場合、学校施設と共有することを検討してほしい。
------------------	--

【市の考え方】盛り込み済

既存施設の状況などに応じて、学校等との施設の一体化を含め、施設の複合化を検討します。

③ 環境等に配慮した整備を推進します。(2件)

要望 138	医療的ケア児以外でも、以前からバリアフリー化や障がい児保育に対する施設整備は望まれていた。
------------------	---

要望 139	太陽光や風力発電などを積極的に取り入れ、子供たちにエコな生活を示していけるようにしてほしい。
------------------	--

【市の考え方】盛り込み済

市立幼稚園・保育園の環境等に配慮した整備に関するご意見として承ります。

5 地域（中学校区）ごとの適正化等の進め方

- (1) 市立幼稚園・保育園の両方がある地域（0件）
- (2) 市立幼稚園のみの地域（2件）

要望 140	市立幼稚園のみの地域については、園児数の少ない市立幼稚園を原則1園拠点園に設定する必要があるのか。私立幼稚園のある地域は、必ずしも1園の必要性は感じない。
------------------	---

【市の考え方】盛り込み済

6 (2) 拠点園の設定の注釈のとおり、「私立園が地域の需要を十分カバーできている中学校区」や「小規模園」については、拠点園を設定しない場合があります。

要望 141	市立幼稚園のみの地域でも、保育園や認定こども園を希望する可能性があるのではないか。
------------------	---

【市の考え方】盛り込み済

市立幼稚園のみの地域については、私立園への影響や施設整備の必要性などを考慮し、原則、預かり保育の充実による対応を想定しています。

(3) 市立保育園のみの地域 (1件)

要 望 142	市立保育園のみの地域については、それなりの需要があり、一時預かり事業も全園で行っているため、原則1園を拠点園とするなどの考え方を支持する。
---------------	---

【市の考え方】盛り込み済

市立保育園のみの地域の適正化等の進め方のご意見として承ります。

(4) 市立幼稚園・保育園がない地域 (1件)

提 案 12	市立園がない地域でも、必要であれば、市立園の新設の検討が必要である。
--------------	------------------------------------

【市の考え方】盛り込み済

幼児教育・保育の保障の観点から、注釈のとおり、私立園による幼児教育・保育の提供が難しくなった場合には、提供体制について検討します。

6 規模適正化、拠点園の設定、認定こども園化の考え方

(1) 規模適正化 (17件)

提 案 13	2年続けて5人未満で統廃合の検討を開始するとしているが遅すぎる。民間のコスト意識ではあり得ない。民間園がない地域であれば存続するしかないが、現在、在園児が20人に満たない園は、直ぐにでも統廃合の検討を始めるべきである。
提 案 14	市立幼稚園の園児数減少による統廃合は速やかに進めるべきである。統廃合検討開始の目安である「2年連続5人未満」の設定は、あり得ない。5人未満では、集団でのあそびや生活の体験は十分得られず、その状況が続くことは子供の育ちにとって健全ではない。10人未満になったら、即検討すべきである。
提 案 15	統廃合検討開始の目安の「2年続けて5人未満」は、「10人」でも良いと感じる。
提 案 16	園児数が10人以下の施設は、統廃合の方向で考えていくべきである。
提 案 17	2年連続5人以下の根拠を知りたい。保育現場において、5人とは、人と出逢う中で、人の気持ちに気づいたり、協同して目標に向かったりする、人間性の豊かな育ちを保障する人数には満たないと考える。少なくとも、学年で10人から15人くらいの規模で、自分を知ること、相手を知ることの学びが起こる。15人は、いつも一緒に過ごすという訳ではなく、3歳児だと7人×2グループ、5人×3グループなど、活動の目的によって構成が柔軟に変えることができることが重要である。1学年5人での運営は、子供にとって大人の人数が十分すぎ、かえって子供たちの育ち合いを邪魔してしまう可能性もあると思う。各施設の費用対効果も低いと考える。

要望 143	「5人以下は駄目で統廃合だ、15人は必要」と決めつけるのは、金銭判断だけで、子供を育てる目標とはき違えている。
質問 41 42	2年続けて5人未満の根拠を示してほしい。

【市の考え方】その他

「5人未満」については、本市の市立幼稚園の現状などを踏まえたうえで、最低限の人数として設定したものです。

また、「2年続けて5人未満」は、検討開始の目安であり、運用にあたっては、保護者や地域住民への意向調査を行うなど、丁寧に協議を進めます。

質問 43	令和3・4年度の新入園児が「2年続けて5人未満」だった場合、統廃合の検討を開始するのか。
-----------------	--

【市の考え方】その他

方針施行時点において、統廃合検討開始の目安に該当する園については、統廃合の妥当性について検証を開始する予定です。

要望 144	保護者、地域の要望は、行政から提案するのではなく、要望を受け止める形で進めてほしい。
------------------	--

【市の考え方】その他

保護者や地域に園の状況を知っていただくための情報提供などは必要と考えています。保護者や地域からの要望がある場合は、その内容について、協議・検討したうえで進めます。

質問 44	私立園が増加していけば、市立園はなくしていく方向で考えているのか。また、市は、私立園についての対応はしないのか。
-----------------	--

【市の考え方】その他

私立園を含めた地域の就学前施設の状況などから地域の保育需要やニーズを検証したうえで、統廃合が合理的と判断した場合には、検討を開始することになります。

市は、法令等に基づく権限において、私立園の認可などに関わります。

要望 145	閉園した園については、違う形で市民が利用できる施設への移行を望む。
要望 146	行政コスト削減のため、閉園となった施設の土地や建物は売却することが望ましい。

要望 147	閉園となった施設は、地区の子育て支援センターとして親子が自由に遊び、活動する地域の文化的な活動場所としてほしい。また、閉園となった園の職員は、子育て支援センター員として活動してもらおう。
要望 148	統廃合により空いた園をすぐに有効活用できるようにするため、統廃合の検討と合わせて進めてほしい。
要望 149	統廃合となり閉園した施設は、子育てに悩んでいても相談できず孤立している家庭やシングルマザー、子供の急な病気などで預け先がなく困っている方などに対応する子育て支援の拠点となり、ファミリーサポートもさらに充実してほしい。
要望 150	閉園した園は、幼稚園教諭・保育士の研修施設や子育て支援ひろばとして活用する。

【市の考え方】 今後の参考

閉園後の跡地利用については、保護者や地元自治会などのご意見も確認したうえで、活用方法を検討します。今回いただいたご意見については、跡地の利用方法を検討する際の参考とさせていただきます。

(2) 拠点園の設定 (8件)

提案 18	私立、市立園を合わせて供給過多となっている状況で、今後の保育需要に合わせるのであれば、都市部の市立園において中学校区に一つの拠点園を作るのではなく、私立園と連携したうえで送迎が困難となる地区のみに拠点園を作るべきである。
提案 19	私立園が十分受け皿になり得るため、中学校区に1箇所という考え方はやめ、統廃合を進めるべきである。
提案 20	市立園の配置だけで判断しようとしているが、市立・私立の区別なく、子育て支援と受け皿のバランスを念頭に対処すべきである。
提案 21	拠点園は、必要な地域だけに設け、必要がないところは決めなくて良いのではないか。

【市の考え方】 盛り込み済

「拠点園の設定」の注釈のとおり、私立園が地域の需要を十分カバーできている中学校区については、拠点園を設定しない場合があるとしています。

提案 22	中学校区をエリアに拠点園を設定し、統廃合を進める場合、都市部では影響が少ないが、市立幼稚園しかない中学校区がほとんどの中山間地域では、エリアの面積も広いため、拠点園を2箇所設置するなど、地域の実情に配慮すべきである。
要望 151	通園距離が遠いと保護者の負担と不安が大きくなるため、拠点園の通園エリアをしっかりと検討してほしい。

【市の考え方】案の修正

中学校区が広いなど、統廃合が難しい地域もあるため、「拠点園の設定」の注釈として、以下の記載を加えます。

《修正内容》

(修正前)

※ 小規模園(全園児15人以下程度)は、拠点園に設定しない場合があります。

(修正後)

※ 小規模園(全園児15人以下程度)は、拠点園に設定しない場合があります。

※ 面積が広く、統廃合した場合、著しく通園が困難になるなど、特段の事情がある場合には、拠点園の設定に考慮します。

提案 23	拠点園設定にあたり、私立園が地域の需要をカバーできているか、現在の資料からではわかりにくいいため、わかる資料を提示してほしい。
----------	---

【市の考え方】その他

方針の公表に合わせて、私立園も含む地域ごとの就学前施設の一覧を資料編として公表します。

質問 45	質の向上を図る役割を担うモデル園は、拠点園全てがモデル園になるのか。
----------	------------------------------------

【市の考え方】その他

拠点園の中から1～2園をモデル園に選定し、効果や課題などを検証します。その後、検証結果を踏まえ、選定する園数などを調整し、本格実施に移行します。

(3) 認定こども園化(7件)

提案 24	現在のニーズに合わせ、既存の市立幼稚園・保育園を一斉に認定こども園化することは難しいか。
提案 25	中山間地域においては、保育需要の保障のため、拠点園となる幼稚園の認定こども園化を原則とすべきである。
提案 26	郊外にある園児数の少ない市立幼稚園・保育園を統合して、認定こども園にしたらどうか。

【市の考え方】その他

認定こども園化については、先行的に実施した園により効果や課題を検証したうえで、今後の拡大などについて検討します。

要望 152	認定こども園化については、県内でいくつかの問題があがっていることから、現場の職員(職員組合を含む)や保護者としっかり話し合い、納得がいくように進めてほしい。
-----------	--

要望 153	本市の認定こども園は、民間主導で進めており、市立園は、地域の反対もあり廃案となった。まず、職員の学習からはじめてほしい。
------------------	--

【市の考え方】盛り込み済

認定こども園化にあたっては、保護者のニーズや私立園への影響のほか、対象となる園とも十分協議したうえで検討を進めます。

質問 46	市立の認定こども園が設置された場合、運営方針については、既存の私立認定こども園も含め、市の方針に従うことになるのか。
-----------------	--

【市の考え方】その他

市立認定こども園については、市の方針に基づき運営することになります。私立認定子ども園については、市立園と同様に法律や基準などを遵守する必要がありますが、運営方針については、運営者がそれぞれに設定することになります。

質問 47	認定こども園化については、需給状況を十分に検証し慎重に検討することになっているが、保育需給の検証はどの様に行うのか。
-----------------	--

【市の考え方】その他

保育需要の検証については、年齢別の人口動態や当該地域及び近隣地域の私立園・市立園の利用率などによる検証を想定しています。また、子育て世帯へのアンケート調査なども必要に応じて検討します。

7 方針運用にあたっての配慮事項等

(1) 地域性への配慮 (37件)

要望 154	幼稚園が閉園すると、地域にある小中学校への入学者に影響するため、中学校区に拠点園1園と示していただいているとおり、中山間地域の小さな幼稚園が存続できるかたちとしてほしい。
要望 155	地域の子供たちの存在は、地域の将来にとって重要であるため、中山間地域の幼稚園、小中学校が今後も存続していける形を考えてほしい。
要望 156	活動の充実や効率性などを考えると、子供たちはある程度の人数の中で一緒に活動する方が良いことは理解しているが、中山間地域の幼稚園、小中学校については、園児・児童数が1人でも残してほしい。
要望 157	少子化社会において、質の高い幼児教育を実現すると統廃合はイコールではない。中山間地域での学校・幼稚園の統廃合は、地域の活力の減少、若者の流出につながり、移住者の受入も難しくなるため反対である。
要望 158	少子化・人口減少が進む中、幼稚園・保育園の見直しは必要かと思うが、拠点園に統合された場合、自宅から拠点園まで片道20kmの距離があり、通わせることができない。効率的な市政運営を進めようとする浜松市にとって、中山間地域に暮らす住民を一気に減らす施策となるが、これによって誰が恩恵を受けるのか。SDGsの文脈でこの課題を考えると中山間地域の幼児教育・保育環境の質の向上に向けた施策こそが正

	しい施策である。明るい未来に向けた施策を提案していただけることを切に願い、良識に期待する。NPO法人などにおいて、中山間地域と都市部との関係人口の増加に資する活動を行い、子育て世代の関心と呼び込もうとしている。この様な活動の芽を育み、活力を伸ばす政策に転換することを切に願います。
要望 159	地域において人口流出を食い止め、まちおこしに取り組んでいる中、幼稚園等が車で40分もかかる所に統合するのは、あまりにも考えがひどい。教育とは何か。地域のあり方、園児の役割、地元との交流、文化を伝え、郷土愛を育むべきである。行政は、山間地域における現状、何をすべきか意見を聴き、反映させるべきである。市街地中心の考えではなく、市全体の教育・文化・伝統を如何に未来につなげて行くか考えてほしい。
要望 160	浜松市は、中山間地域への移住を進めているが、幼稚園・保育園がなければ、若い世代は移住できない。方針は、市の施策と矛盾している。幼稚園・保育園は地域の宝である。
要望 161	統廃合は、移住を推進している浜松市としては、中山間地域の活性化ではなく、過疎化に拍車を掛けようとしているのではないか。
要望 162	中山間地域の振興、移住促進、持続可能な地域、安心して暮らせる地域、これらの言葉をよく聞くが具体性はなく、むなしく聞こえる。その裏で幼稚園を統合・廃園、まったく矛盾している。
要望 163	市では、移住政策として都市部から若い人を中山間地域へ誘致しているが、幼稚園、保育園数が少ないとなるとうまくいかないことも考えられるため、その点を考慮してほしい。
要望 164	統合すると通園が困難になる地域は、現在の市立園をそのまま存続させる。
要望 165	距離的に無理な統合はやめてほしい。
要望 166	通園が困難な家庭がある場合は、統廃合を中止してもらいたい。
要望 167	中山間地域は、同じ基準ではいけない。
要望 168	中山間地域と都市部では、生活様式などが大きく異なるため、別々に検討を重ねることが重要である。
要望 169	施設の老朽化や少子化により、適正化は必要だと思うが、地域により実情が異なるため、それぞれに応じる必要がある。

要望 170	中山間地域では、1学年15人以上の園児の確保は現実的ではない。人数を示すとそこが大きなハードルと考えてしまう。区再編も行われる中、柔軟に基準を見直したり、新しい基準を作ったりするなど区の実情に合わせて対応してほしい。
要望 171	地域性への配慮は必要である。
要望 172	中山間地域の子育てにとって、園があることは大きな安心や希望になっている。進め方には、十分配慮と説明が必要である。
要望 173	市立幼稚園は、利便性の低い地域に多くあり、保護者は、自宅や勤務地の近くに預けたいという思いが強いはずである。私立園がない場所など、市立幼稚園を必要とする地域は必ずあると思うため、このことにも配慮して検討してほしい。
要望 174	中山間地域では、就学する校区のある園に通うといった入園目的がある。統廃合する場合は、利用者が納得する説明をするべきである。
要望 175	幼稚園に限らず、小中学校が統廃合されると、子育て世代が地域から流出してしまうなど地域づくり全般の課題がある。そのような課題を含め、保護者の意見や地域、自治会の意見を丁寧に聞き進めてほしい。
要望 176	中山間地域の重要性と、お金と教育のあり方を再構築してほしい。幼児教育と中高生、社会人の教育はそれぞれ違うはずであり、幼少期の生活や体験が、その子の考え方を作り上げていく。「人を育てるとは」について、今一度、根本的に考え直してほしい。
質問 48	既に集団での学びを補完するため、他園や小学校との交流事業が行われている園は、統廃合は必要ないという判断もあり得る。統廃合ありきの表現になっていないか。
質問 49	中山間地域の地域性を地理的な面からしか捉えていない。地理的要因以外は、配慮しないということか。
質問 50	中山間地域にとって、子供の教育環境と移住促進政策は密接な関係がある。これを中山間地域の地域性として配慮しなかった理由は何か。
質問 51	規模適正化に伴う統廃合という言葉は、ネガティブな印象を与える。地元の幼稚園が、常にネガティブな印象を持たれているとしたら、そこで暮らす人、そこに移住する人にどのような影響を与えるか考えたことがあるのか。幼稚園・保育園の存続問題は、その地域の持続に関わる事でもあるという認識はないのか。

【市の考え方】案の修正

統廃合は、基本理念のとおり、地域の実情に合わせて行うものであり、地域の実情には、通園距離を含む地理的要因や過去の統廃合のほか、市の施策なども含まれるものと考えます。

一方、中山間地域については、3課題で記載のとおり、都市部と実情が大きく異

なっており、特に地域の実情を考慮する必要があると認識しています。そのため、中山間地域においては、統廃合検討開始の目安（2年続けて5人未満）に該当した場合においても、在園児がおり、園存続の要望がある場合には、統廃合を前提とした検討としないことなどを示すため、以下のとおり記載内容を変更します。

《修正内容》

（修正前）

- ・ 中山間地域などの地理的要因や過去の統廃合などの状況を考慮するとともに、保護者や地域の理解と協力を得ながら、慎重に統廃合を検討します。

（修正後）

- ・ 保護者や地域住民の理解と協力を得ながら、統廃合が必要とされる場合には慎重に検討を進めます。
- ・ 中山間地域の市立園は、地理的要因や過去の統廃合などの状況を考慮するとともに、統廃合検討開始の目安（2年続けて「5人未満」となったとき）に該当した場合においても、在園児がおり、園存続の要望がある場合には、保護者や地元自治会などとともに園のあり方について検討します。

<p>質問 52</p>	<p>令和4年5月の厚生保健委員会において、当局から「一律の基準ではなく、地域の実情に応じた、地域性を考慮しながら進めていけるような方針の策定を考えていきたい」との発言がある。方針案では、一律の基準が示され、中山間地域については配慮事項に留まっている。方針変更となった理由は何か。</p>
-------------------------	--

【市の考え方】 その他

方針を変更しているわけではありません。統廃合検討開始の目安は、保護者や地域と協議を始める時期を示しているものであり、統廃合などについては、保護者や地域住民、私立園などと協議したうえで、個別に決定していくものと考えています。

<p>質問 53</p>	<p>令和5年2月の厚生保健委員会において、「幼稚園の統廃合は、市が進めている移住促進政策に影響が出るのではないか。移住を担当する課とも連携してほしい」との意見があった。方針作成のための検討会に移住に関わる担当課が加わっていないのはなぜか。</p>
-------------------------	--

【市の考え方】 その他

方針策定のための検討会は、子供たちにとってより望ましい幼児教育・保育を実現するための施策に直接関係していることを視点に委員を選定し、令和4年5月に立ち上げました。検討会の中では、中山間地域の現状を踏まえ、配慮を求める意見があり、方針案に「中山間地域などの地理的要因や過去の統廃合などの状況を考慮し、慎重に統廃合を検討する」旨を記載しました。

一方、中山間地域において、市立幼稚園の存続は、移住政策に影響を与える可能性がありますので、統廃合などを検討する場合には、担当課と連携を図りながら調整を進めます。

<p>要望 177</p>	<p>地域への配慮は支持する。中山間地域の子供たちが「集団」に慣れるように配慮をお願いする。</p>
--------------------------	--

要望 178	中山間地域では、熊幼稚園の様に幼小一貫教育の様な形とすれば「集団での学び」の充実を図ることができる。
要望 179	現在、熊地域で行われている連合教育を充実させていけば、集団での学びは解決できる。

【市の考え方】その他

他園との交流事業は、イベント的な側面があり、また、小学校との交流事業は、異年齢交流となるため、同年齢との集団生活を前提とした「集団での学び」においては、補完的な位置づけになると考えます。一方で、通園距離など地理的な要因などにより統廃合が難しい園もありますので、その場合は、他園や小学校との交流事業により教育・保育活動を補完します。

質問 54	「統廃合が難しい園」とあるが、具体的にどのような条件によって、統廃合が難しいと判断するのか。
----------	--

【市の考え方】その他

通園距離などの地理的要因や過去の統廃合なども考慮したうえで、保護者や地元自治会などと協議し、判断することを想定しています。

提案 27	中山間地域にある少人数の市立幼稚園の存在は、地域に住む人々の心のよりどころになっている事は否めない。少人数だからこそ、質の高い幼児教育・保育が実践されているともいえる。保護者にとっても、子育ての大きなよりどころであり安心感につながっている。中山間地域において、地域に根ざしている市立幼稚園は、園児数を如何に増やすかこそ、これからやるべき課題だと思う。保育時間が子育て家庭のニーズに合わないことが園児数減少の要因と考えられるため、保育標準時間を遅くしてみてもどうか。また、夏季保育なども期間を長くしてみてもどうか。統廃合や認定こども園化を進めるのではなく、市立幼稚園の良さを改めて見直していくことが市民サービスにつながると思う。
提案 28	ニーズの多様化の中には、少人数教育・保育も含まれると考える。中山間地域では、自然の中で少人数教育を積極的に進めていく、という施策を打ち出すことはできないか。
要望 180	天竜区は保育園がなく、保育ママ制度に委ねられているが機能していない。地域から人口流出は必然であり、保育が安心して受けられる体制を作ってもらいたい。
要望 181	天竜区内には未就園児を預ける市立園がなく、苦勞している。北遠5地域それぞれに認定こども園をつくっていただきたい。どこでも、お母さんたちが働くことができる環境を創出していただくよう、保育園環境を中山間地域であってもしっかり充実するようお願いする。

【市の考え方】今後の参考

中山間地域の幼児教育・保育の提供体制に関するご意見として参考とさせていただきます。

(2) 統廃合への配慮 (7件)

要望 182	最後の卒園児を見送るまで幼稚園は残すべきである。
-----------	--------------------------

【市の考え方】盛り込み済

統廃合の時期については、保護者の意向を確認するなどの調整を図ったうえで決定することとしています。

要望 183	通園バスの検討は必要である。
要望 184	市立園も通園バス等を導入し、統合により通園距離が遠くなった家庭も登園可能とすることができないか。
要望 185	園を統廃合すると、送迎がない場合、通いづらくなる。料金の面でも、公立と私立で多少料金に差があっても、通わせやすい方を選ぶ。この点についても考慮して考えてほしい。

【市の考え方】盛り込み済

統廃合により、著しく通園が不便となる地域の通園バスの導入に関するご意見として承ります。

要望 186	統廃合によって通園時間が長くなることで子供に負担を掛けるのではないか。
要望 187	「著しく通園が不便になる地域」との記載があるが、「著しく」とはどの程度を想定しているのか。小さな子供が通園することを考慮して検討してほしい。
質問 55	通園が長距離、長時間となると子どもの心身への影響が大きい。統廃合がなされた場合には、どの程度の通園距離や時間を限度として設定するのか。

【市の考え方】その他

通園時間等については、園児の心身の負担を考慮することを最優先に、統廃合検討時の関係者との調整の中で保護者などからご意見を伺い、判断したいと考えています。

(3) 私立園との連携 (8件)

要望 188	預かり保育や通園バスなど保育や通園バスなど保育サービスを増やす多機能化は、更に運営コストが増えることとなり、民間園の経営を圧迫することにもつながりかねないことを説明すべきである。
要望 189	私立園にとって、市立園の拠点園の設定、認定こども園化については、園存続も危ぶまれる脅威であると感じている。配慮事項等にある「定員変更や施設整備などにあたっては、私立園に及ぼす影響を考慮します」を将来にわたり守っていただきたい。

【市の考え方】その他

方針に基づき施策を進める際には、運営コストや私立園への影響についても十分に考慮します。

要望 190	私立園との連携については具体性に欠けている。市としてどうして行くのか、踏み込んだ記載を望む。
要望 191	拠点園設定後には、市立・私立が共に研修・交流ができ、全体の保育の向上につながるような役割を果たすことを望む。
要望 192	現在、市立園と私立園との連携は取れていないと感じる。お互いの幼児教育・保育について情報交換、交流の場は必要である。

【市の考え方】その他

私立園と市立園の連携については、地域全体の幼児教育・保育の質の向上を図る役割を担う園がコーディネーター役となり、進めていくことを想定しています。具体的な活動内容については、いただいたご意見も参考にして、方針施行後、モデル園の選定と合わせ検討します。

要望 193	園児数を見るとかなりの数が統廃合となると推察する。私立園では保育士不足という話も聞くため、職員についても官民連携することが重要である。
要望 194	支援が必要な子供を私立園でも受け入れることができるように、市立園の職員を私立園に派遣・移籍することにより、市立園職員が失職しないようにできないか。

【市の考え方】その他

私立園と市立園の連携に関するご意見として承ります。

要望 195	私立園の定員の拡大により、待機児童はゼロになったが、園の体制が整っているとは到底思えない。質の良い保育を提供するための施策を考えてほしい。
-----------	---

【市の考え方】盛り込み済

私立園への配慮や幼児教育・保育の質の向上に関するご意見として承ります。

(4) その他(11件)

質問 56	「幼稚園教諭・保育士等の確保がさらに難しくなる」とあるが、どういふことか。
----------	---------------------------------------

【市の考え方】その他

私立園も含む市全体の就学前施設の定員増加に伴い、幼稚園教諭・保育士等の必要数が増加していることに加え、業務負担の軽減や幼児教育・保育の質の向上に向けた保育士の配置基準の見直しも議論されており、幼稚園教諭・保育士の確保がさらに難しくなることを想定しています。